

TU

Free magazine that introduces
Teikyo university Utsunomiya campus.

No.4

帝京大学 宇都宮キャンパス

「人を幸せにする情報システムって？」
特集:ヒューマン情報システム学科

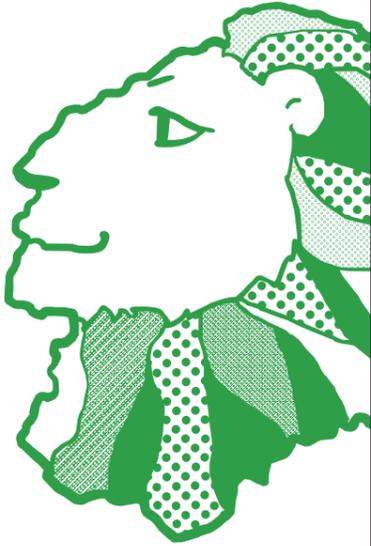
TU

No.4

発行月 2012年12月 発行 帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL. 028-627-7111(代) FAX 028-627-7184 E-mail: somu@riko.teikyo-u.ac.jp
URL: <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX・E-mailにてお寄せください。 ©帝京大学 2012 禁 無断転載

帝京大学 宇都宮キャンパス

2012年7月、 とちぎサイエンスらいおん プロジェクト始動!!



とちぎの
科学技術
を元気に
しよう!

「栃木の自然と科学技術に学ぶサイエンスらいおんプロジェクト」(通称:とちぎサイエンスらいおんプロジェクト)は、帝京大学が独立行政法人・科学技術振興機構(JST)に提案・採択された企画で、私立大学での採択は日本初! 県民の皆様へ科学【サイエンス】をもっと身近に感じてもらうための、産官学連携プロジェクトです。

2012年は、こんなイベントを実施しました!



栃木県農業試験場公開デー
(2012年8月25日)

栃木県農業試験場が開催する、年に一度の公開デー。本プロジェクト初めての連携イベントとなり、プロジェクト紹介のブース出展を行いました。



次回は
2013年9月8日
開催決定!

理工系進学体験イベント
「エンジョイ! カガク!!」
(2012年9月9日)

帝京大学 宇都宮キャンパスで「カガクのおもしろさを体験しよう」をコンセプトに毎年開催されているイベントに、今回から本プロジェクトも加わりました。



とちぎサイエンスらいおん
発足記念公開シンポジウム
(2012年11月23日)

公立はこだて未来大学の中垣俊之教授(イグ・ノーベル賞受賞者)による招待講演や、帝京大学の教員も交えたパネルディスカッションを行いました。

今後は、このような企画を予定しています!

サイエンスらいおん実践講座 レポーターコース(実施中)

一般県民が県内の科学施設取材、テレビ番組や新聞記事を作ります。最優秀作品はとちぎテレビ放映や下野新聞掲載(2月下旬予定)。

プログラムライブラリ (近日、Webサイトで公開予定)

プロジェクト参加機関が、科学に関する講座を提供します。地域やグループなどでご利用ください。

サイエンスらいおんカフェ (2013年1月スタート)

面白い研究をしていたり、県内にゆかりのある科学者を毎月1回お呼びして、少人数でお茶を囲みながら科学談義をします。

Webサイトにて最新情報を配信中!

<http://www.tochigi-lion.net>



お問い合わせはこちらまで!

とちぎサイエンスらいおん事務局(帝京大学宇都宮キャンパス内)
E-mail: info@tochigi-lion.net
TEL.028-627-7344 FAX.028-627-7015

帝京大学 宇都宮キャンパス

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/>

Produce / FLEX DESIGN POWERS Co., Ltd. Director / Yuka Kato Designer / Takashi Kimura Photographer / Yoshinobu Senbon
Writer / Shoichi Kitamura, Koutarou Hiraoka Publisher / Teikyo University Utsunomiya Campus



ヒューマン情報 システム学科特集

P02

P03 先生の研究紹介

- ・ 飽本一裕 教授
- ・ 佐々木 茂 准教授

P05 授業潜入レポート

P07 ヒューマン情報システム学科の学生に聞きました!

P09 取得できる資格

P10 卒業生の紹介

通信教育課程の紹介

P11

宇都宮キャンパスNEWS

P12

GIRLS TALK

P13

人を幸せにする 情報システムって?

ネット上で買い物ができたり、カーナビや地図アプリが目的地へ道案内をしてくれたり、ハイブリッドカーの動力を切り替えたり、人工の心臓や呼吸器を動かしたり…。

周りを見渡すと、情報科学やエレクトロニクスの技術は、水や空気のように、あるのが当たり前になりつつあります。

でも、人と技術のいい関係ができていくかというと、ちょっと「？」な点もないとはいきません。

本当に使いやすいだろうか？

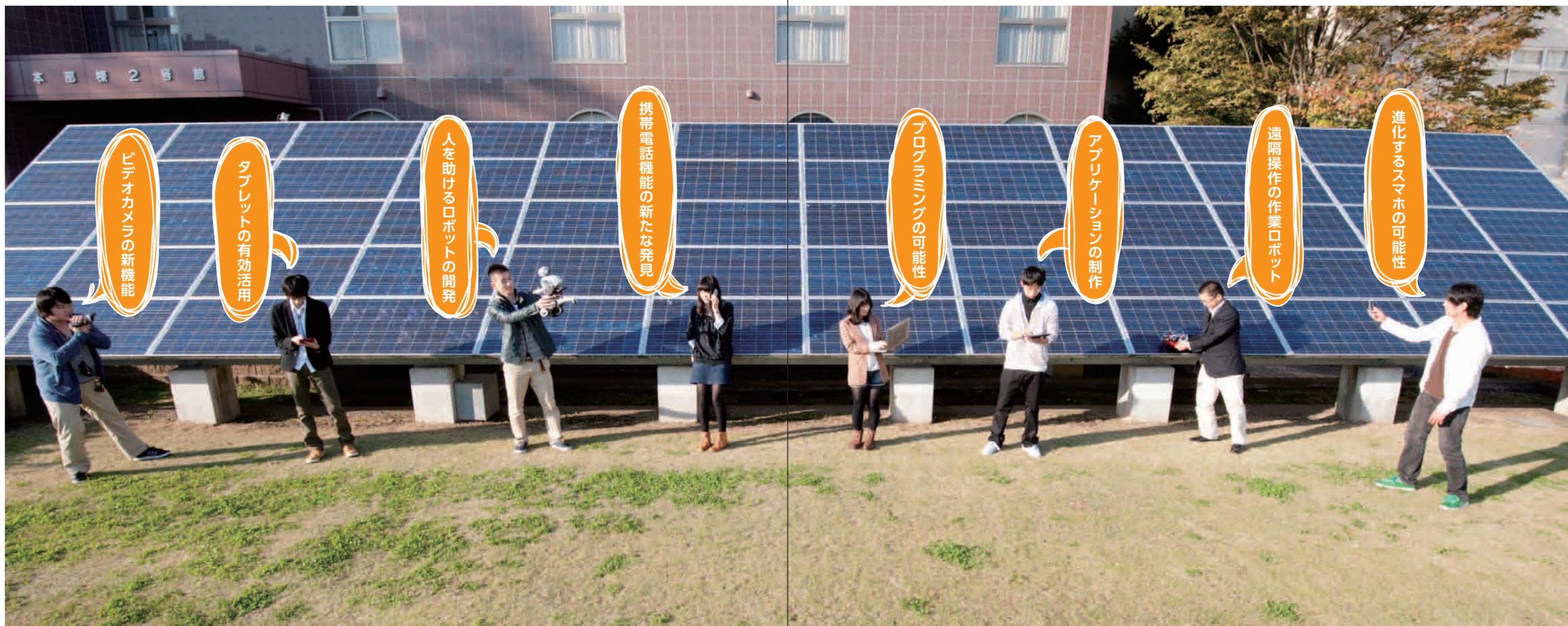
使っている人が疲れたりしないだろうか？

うっかり操作を間違ったらどうなるだろうか？

そんなことを考えていくと、まだまだこれからといった課題も少なくないようです。

ヒューマン情報システム学科は、コンピュータネットワーク、医療エレクトロニクス、通信システム、ロボット技術など、あらゆる専門分野で、技術の高さだけを追い求めるのではなく「人を幸せにする」という視点からハードとソフトを考え、生み出していく人材を育てるために誕生しました。

TU第4号の特集では、このヒューマン情報システム学科をクローズアップ。
先生方の研究、授業内容、在学生が思い描くこと、将来の進路などを紹介します。



先生の研究紹介

スマホで
3Dマンガを
作る&見るソフト佐々木 茂
准教授

手描きとデジタルの融合を目指して

タブレット(端末)やスマートフォンで読める電子書籍は、日本でも多くの出版社や書店がこれからのビジネスとして、大いに期待を寄せている分野だ。

実はここ宇都宮キャンパスでも、電子書籍向けの新技术に取り組んでいて、3Dマンガのコンテンツ作成ソフトと表示システムの研究開発が進んでいる。携わるのは、ヒューマン情報システム学科准教授の佐々木茂先生と大学院の理工学研究科修士課程2年の古田順史さん。

そもそもこの学科では、3Dの技術研究が盛んだ。先生自身も溶岩の状態を表す3DのCGを手がけた経験を持ち、学内外でも定評がある。宇都宮市内にある文星芸術大学の田中誠一先生に、3Dマンガのコンテンツ制作で協力を求められ、この研究開発がスタートしたという。

「3D対応のスマートフォンはあっても、コンテンツが少ないのが現状。そこで、手軽に3D作成ができるソフトを作ろうと考えました」と佐々木先生。「目指したのは、手描きとデジタルの融合。背景と手前の画像に奥行きを与え、水平位置を左右で変えることで、立体を表現しています」と続ける。もともとなるのは、マンガ家やイラストレーターの間では一般的な、画像編集ソフトPhotoshopで作ったデータ。つまり、この3D加工ソフトがあれば、コンテンツも大幅に増やせるようになる。電子書籍の業界に新たな流れが生まれる可能性も高い。

興味の持てるテーマや手法を見出す

古田さんは、かつてプログラミングが苦手だった。しかし、佐々木先生に「Unity」というゲーム開発ソフトを薦められてからは一変。面倒な入力が必要としない点を理由に挙げつつも、「自分から進んで研究したくなるようなテーマや手法など、先生の指導の仕方ですごく自分が変わったと思います」という。現在、場面に合わせた音声、動画、バイブレーションとの連動といった機能も検討中。様々なアイデアが生まれてくるようになった。

卒業後は、情報システムの開発会社に就職が決まっている。スマートフォン用のアプリケーションも開発しているそうで、この研究室で得た知識や経験が役立つことは間違いない。

「研究開発の面白さを体感し、それを通じて実社会で活躍する力を身につけてほしいですね」と佐々木先生はしめくくった。

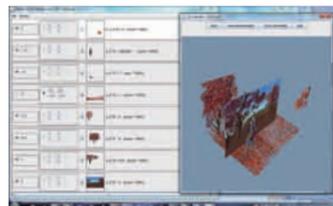


写真左:ヒューマン情報システム学科 佐々木茂准教授、写真右:理工学研究科 修士課程2年の古田順史さん。

研究室には、様々な機種スマホやタブレットが。



立体の吹き出しの中でセリフが次々に変わるなど、従来のデジタルコミックとは異なる。



人物や背景などのレイヤー(層)ごとに奥行きを与えて、画像を立体的に見せている。

先生の研究紹介

福島県各地域の
放射能の特性飽本 一裕
教授

誤解と偏見に立ち向かう

東日本大震災の発生から数週間、福島県いわき市では、福島第一原子力発電所の事故による影響で、救援物資が届かないという事態が起こっていた。目に見えない放射線の恐怖に誰もが立ちすくむ中、飽本先生は、単身福島へ赴き、いわき市に物資を運んだ。

これまで環境問題の解決を目指して、クリーンエネルギーや省エネルギーに関する研究に取り組んできた飽本先生。福島第一原子力発電所の事故以来、福島県における放射能の研究に注力している。

政府やマスコミが流す情報は、科学的根拠のないものも多い。そしてそれらは、人々の不安をまねき、福島に対する偏見を生み出した。こうした状況に対し、正しい情報を示していくことが物理学者である自分の使命だと飽本先生はいう。「本格的に調べてみると誤解ばかりですよ。それによって福島の人々がどれだけ苦しめられたことか、本当に胸が痛みます」。

科学者として、一人の人間として

放射線が人体に及ぼす影響は、未だ不明な部分が多いのが現実だ。ある程度の放射線は身体に良いとされる説さえあり、世界には福島市の線量率を上回る地域が随所に存在している。また、測定され、公表されている線量率は局地的データに過ぎないと飽本先生はいう。「放射性物質は、風雨によって移動することがわかりました。公表されている線量率は、計測した場所に限定されたもので、雨風の影響もあり地域全体の示す線量率としてはふさわしくないこともあるのです。つまり数十メートル離れた箇所では線量率が2倍になることも、半減することもあり、非常にきめ細かい測定が必要です」。

自ら計測機器を用いて、定期的に福島各地域でデータを収集し、研究を続けている飽本先生。現在、福島における線量率の科学的根拠に基づいた正しい知識と情報を、講演会などを通して人々に広めている。「震災直後に福島の様状を目の当たりにしたとき、福島の人たちと困難を共有していくことを決めました。微力かもしれませんが、これからも長期的に福島とかかわり続けていきたいと思っています」。飽本先生は、科学技術を扱う研究者として、他者の力になりたいと思う一人の人間として、原発問題と真摯に向き合っている。



「継続して、長期的に関わっていくことが重要」と語る、飽本一裕教授。

福島県の各地域での計測の様子。



南相馬市の高校。グラウンドには雑草が生い茂ってしまっている。

計測機器の数々。先生の姿勢に共感する研究者から、機器を提供してもらった。



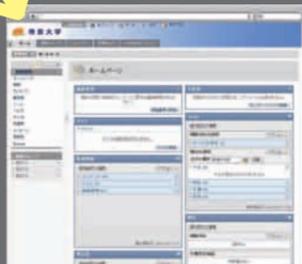
授業の情報を 自宅のPCや 携帯からも 確認可能!?

帝京大学宇都宮キャンパスでは、学生生活を支援する様々なオンラインシステムがあります。例えば、自宅のPCや携帯端末からも授業の資料が確認できたりするんです。

「プロジェクト演習」の授業でも、その中の授業支援システムが大活躍！チーム内の進捗確認や各メンバーが集めた情報の共有など、スムーズなやりとりにとっても役立っています。



これはLMS (Learning Management System) というシステム。学校や自宅のPC、携帯端末からアクセスし、自分のID・パスワードでログインすると、マイページが確認できます。ファイルのやりとりはもちろんオンラインテストもできます。



- 履修登録・確認
- 単位の確認
- 教職履修状況の確認
- 休講情報のチェック
- 資料のダウンロード
- 動画で授業を受講
- オンラインテスト
- 先生への質問
- ファイルのやりとり
- 携帯での出席管理

オンラインで
できること



ヒューマン情報システム学科の1年次で特色ある授業のひとつが、「プロジェクト演習」です。提示された2つのテーマから各自で問題を選択し、数名でチームを組みます。企業や行政で実際に取り組まれているプロジェクトと同様、チーム内での自分の役割を果たしながら、問題解決の糸口を探していきます。

今回潜入した第6回目は、最終発表会の予選。それぞれのチームが調査・分析を繰り返しながら取り組んできた問題解決のための提案が、「プレゼンテーション」という形で発表されました。

これから様々な知識や「技術」を学んでいくであろう1年生たち。そもそも何のための技術なのかを改めて考えたり、自ら問題点を見つけ出したりする姿勢を身につけ、ヒューマン情報システム学科生ならではの柔軟な考え方の基盤を養ってほしいというのがこの授業の大きな目的です。

こんなアイデアが 出てきました!

- IDEA** 電動アシスト
上り坂で、手動から電動に切りかわる。
- IDEA** 危険を感知するロボットビジョン
3次元ロボットビジョンを搭載し、危険を感知すると警鐘が鳴る。
- IDEA** 消費カロリー表示機能
運動がしづらい患者さんが、外に出かけるモチベーションを保てるように。
- IDEA** GPSを使ったナビ
通った道を記録し、どの道が車椅子が進める道なのかを車椅子利用者と共有できるしくみに。
- IDEA** 脳波で動かす機能
- IDEA** 段差を上り下りするロボットアーム



各チームで発表内容をパワーポイントにまとめ、プロジェクターに映して発表します



全部で10チーム。自分たちの番を、ドキドキしながら待っています

こんなアイデアが 出てきました!

- IDEA** 「バス」に着目
→支出を減らし、収入を増やし、地域密着型に
・利用者のニーズ(学校・病院・買い物など)を汲み取り、効率の良い路線・時刻に整備する
・バスの運賃以外の収入を考える
ex) 地元企業とのタイアップ広告、ラッピングバス、地域の資源を掘り起こして観光に注力する など
- IDEA** 「公共トイレ」に着目
→きれいで、安全、子どもが外で安心して使えるように
・交番の側や人通りのあるところに設置
・有料化し、運営費用を利用者が一部負担(子どもの利用を考慮、プリペイド方式をとる)
- IDEA** 「ドア」に着目
→公共機関のドアは「スライドドア」に移行
・開き戸は指を挟む危険性があるため(スライドドア・折れ戸・開き戸など、各種のドアの安全性を検討)



チーム内で役割を分担して、発表を行います



他のチームの発表で、気になったことはどんどん質問!

授業潜入 レポート

「プロジェクト演習」の 授業におじゃましました!

プロジェクトのテーマ 車椅子に付加できる 新機能

担当 小川 充洋 講師



実際に使う人の立場に立った提案を

車椅子は、人の生活と深い関わりを持つ装置の一つです。欧州では、街中でも車椅子を利用する人を多く見かけ、生活の一部として溶け込んでいます。一方、日本ではバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が叫ばれる反面、街で車椅子を利用する人はそれほど見かけません。こうした状況の背景には、車椅子に利用しづらい何らかの問題が潜んでいる可能性があり、人間と工学を扱うヒューマン情報システム学科として取り組むべき問題であると考え、このテーマを設定しました。

学生たちは、スタートこそ若干の戸惑いは見られたものの、回を重ねることにチームが活性化していく様子が見て取れました。この「プロジェクト演習」を通じて、学生たちに感じてほしいことは、チームの中で自分の役割を考えられる力。チームに求められる人材は、リーダーだけでなくありません。リーダーの補佐役やチーム全体の調整役、時にはムードメーカーも必要でしょう。チームの力を最大限に発揮すること、どれだけ自分たちが実際に車椅子を使う立場に立った提案ができるかが、ポイントとなると考えています。

小川先生の専門は、医用生体工学。工学の技術を医療や福祉に役立てるための研究。からだに負担の少ない測定技術の研究を第一線で続け、実用化を進めている。



プロジェクトのテーマ 子どもとお年寄りに 配慮した社会形成の ための公共インフラ

担当 高井 久美子 助教



普段の生活から、問題点を見つける

今回、「公共インフラ」というさまざまな観点から捉えることができる問題をテーマとして設定しました。「誰もが住みやすい社会について考える」という身近な課題に取り組みことで、科学技術と人の関わりを常に意識してほしいと考えたからです。

プロジェクトは、学生たちが日常生活の中からいろいろな問題に着目し、自らテーマを絞り込むところから始まります。公共インフラという言葉から、交通機関や公共施設などを取り上げるチームが多いかと予想していましたが、それだけではなく、安全で快適な公共トイレについて考えたり、扉の開閉の安全性を取り上げるチームが現れ、学生たちの問題意識の幅広さには驚かされました。

学生自身が普段の生活で問題に思っていることが、「プロジェクト演習」という枠組みの中の仲間との議論によって顕在化しているように、提案された解決方法は、生活に密着したものやユーザの視点からのものが多かったですね。発表やデイスカッションを通して、さらに多角的な視点からの検討が必要であると実感したようです。

高井先生が研究しているのは、ICT (Information Communication Technology) の教育場面への活用方法。学生にとってより快適で効果の高い学習ができる環境づくりのため、日々挑戦している。



人間を軸にして情報システムやエレクトロニクスのこれからを考えたり、学んでいくのって、とても新鮮ですよ。



ヒューマン情報システム学科の学生に聞きました!

これまでの理工系の学科とはちょっと違う。それがヒューマン情報システム学科。どんな雰囲気、どんな授業があるのか? さらに、どんな夢や目標を持って学んでいるのか? 将来に向けた思いも…。3人の学生たちに、あれこれ語ってもらいました。



秋場 大貴さん
[私立作新学院高校(栃木県) 出身]
3年

二瓶 達寛さん
[私立京北高校(東京都) 出身]
4年

加藤 博昭さん
[栃木県立烏山高校 出身]
3年

皆さんがヒューマン情報システム学科を選んだ理由は?

二瓶 コンピュータなどの情報機器は、たぶんこれからはもずくと、生活に欠かれない存在です。だから、人を中心に情報技術を考えていくこの学科に興味を持ちました。他にはない学科名にも惹かれました。

加藤 僕はコンピュータのしくみやプログラミングに興味があったので、「情報システム」という部分を選びました。

秋場 僕も加藤くんとほぼ同じですが、通っていた学習塾の先生が帝京大生だったので、影響を受けたというのがあります。それに学科名にインパクトがあって、「ヒューマン」と「情報システム」ってどういう関係かな? という興味もありました。

二瓶 「ヒューマン」ってこの部分は、実際、授業を受けるようになってから、ああそういうことか...ってわかることも多いよね。

加藤 人が情報技術とどう関わっていくかとか、どうすればもっと人に優しい技術が生み出せるのかとか。

秋場 理論や技術って方向からだけじゃなくて、人間を軸にして情報システムやエレクトロニクスのこれからの考えたり、学んでいくのって、とても新鮮ですよ。

ユニークな学科だと思いましたが、入学してから驚いたことって何かありましたか?

秋場 何よりも、携帯で出席登録するシステムがあることにびっくり。WEB上でレポートを提出したり、ペーパーレス化が進んでいる点にも驚きました。

二瓶 僕は想像以上に和やかな雰囲気

だったのに驚きました。理工系っていうと、どこか堅苦しいイメージを持っていただんですけど、先生や先輩とも和気あいあい。とても居心地がいいなと思いました。研究室にたずねて行くと、先生のほうからいろいろと教えてくれます。

加藤 あえていうなら「メカネ率」が高いのにちょっとびっくり。まあ、僕もそのうちの人なんですけど(笑)。いかにも理工系ってイメージが強まりました。

皆さんのおすすめの授業を教えてください。

二瓶 僕が一番好きなのは、「プロジェクト演習」。社会に出たら、プログラミングなどの技術的な知識に加えて、プロジェクトを企画・提案するためのプレゼンテーション能力も必要です。この演習では、数人のグループでプロジェクトの内容を考え、コミュニケーションを取りながら、全員で一つの目標に向かっていきます。プレゼンテーションを行うために、方向性などを決めていくのですが、とても実践的で将来に役立つと思います。

秋場 僕はものづくりが好きなので、技術的な知識が身につけられる授業がおすすめです。挙げるのであれば、「情報システム実習」や「プログラミング」かな。

加藤 二人とちょっと違う観点なんです。僕は物理と数学が専門の古井先生の授業は、すべておすすめ! 正直言って難しいですが、考える力を身につけるには最適だと思います。

二瓶 僕は公務員志望。技術系や研究開発系に進む人も多いんですが、「ヒューマン」という部分で学んだことを活かしたいと思っています。

秋場 僕も技術系の仕事に就きたいと思っていたんですが、学園祭実行委員会で広報を担当するようになってからは、ちょっと違う意味でのものづくりに興味を持つようになりました。パンフレットを制作するために、デザイン会社とのやりとりをしているんですが、クリエイティブ関連も面白そうですね。

これからヒューマン情報システム学科で皆さんの後輩になるかもしれない人たちにメッセージをお願いします。

加藤 プログラミングや電気回路については、入学してから学びました。普通科出身でも決してハンデはないので、安心して志望してください。それから、授業以外に、アルバイトやサークル・趣味など、真剣に取り組める何かがあると、キャンパスライフが豊かになるといいと思います。僕は、大学で「LTA(ラーニングテクノロジー開発アシスタント)」をしています。これは、授業運営の

支援や教材作成など、先生や学生の活動を幅広くサポートする役割です。教材についての提案をしたり、後輩LTAの指導をしたり、より深い視点でいろいろなお話を学べるので、ぜひ体験してほしいですね。給料ももらえます。

秋場 高校時代に数学I・IIまでをしっかりと勉強しておくと、授業がより理解しやすくなると思います。また、僕も加藤くんと同じで、授業以外の活動はするべきだと思います。さっき話したように、学園祭の広報を担当していることで、多くの人のつながりができましたし、視野も広がったように感じています。

二瓶 僕も二人の意見に賛成です。部活では剣道部に在籍し、キャプテンを務めていました。他の学部や他校の人たちとの交流も生まれましたし、色々な刺激も受けますね。また、アルバイトでも地元の中学生に剣道を教えています。人とコミュニケーションを、自分から進んで学んでいくことで、ヒューマン情報システム学科での4年間がさらに実りのあるものになると思います!

ヒューマン情報システム学科の学生たち、もっと紹介しちゃいます!



藤沼 和馬さん(4年)
[私立作新学院高校(栃木県) 出身]
子どもの頃からコンピュータに触るのが好きだったので、この学科を選びました。勉強にサークル(映画制作部)に、どっぷり打ち込む毎日です!



近藤 肇さん(3年)
[私立帝京安積高校(福島県) 出身]
まわりの友達からは、プログラミングや半導体についてのマシンガントークを聞けます(笑)。何か勉強のおもしろさにハマってしまい、大学院進学を考えています。



高橋 壮輝さん(3年)
[栃木県立宇都宮工業高校 出身]
「地球環境システム」という授業がおすすめです。勉強としてだけでなく、日常生活の改善にもつながる、かなり興味深い内容なんです。



遠井 千波さん(2年)
[茨城県立古河第三高校 出身]
個性的で楽しい人が多いかな。2年生になって友達や先生たちとどんどん仲良くなってきて、自分の中の向上心も大きくなってきていることを実感しています。



岡田 隆志さん(2年)
[茨城県立下館第二高校 出身]
理工系だけではなく、医療系や文系の学科の授業も受けられるので、幅広い知識が身につけられます。医療に興味を持ったので、臨床工学技士を目指しています。

OB&OG INTERVIEW

卒業生、就職先ではどうしてる?

この春卒業したばかりのヒューマン情報システム学科の卒業生(1期生)の職場にお邪魔して、就活や今の仕事のことなどを聞いてみました!

佐藤 歩美さん

株式会社大日光・エンジニアリング
根室工場

事業内容:電子機器や光学機器、
カスタム電源ユニット、各種電子基板等の
開発・設計・製造・解析修理サービス



システムという裏方からもづくりの現場を支えたい

もともとのつくりに興味があつたので、この会社を志望しました。
現在は、製品の受注から出荷までの工程や在庫データを元的に扱う、生産システムの運用を担当。紙媒体からデータへ変換し、エクスセルでまとめたり、社内ソフトでデータ入力したりと学生時代に学んだことをフル活用しています。また、回路や素子の知識はもちろん、得意だっ

たプログラミングの技術も、いずれ役立つのではないかと思います。
学生時代の大きな思い出は、課題採点のお手伝いなどを行う学内のLT開発室でのアルバイト。就活での面接時にもアピールできる、貴重な経験になりました。
現在担当している社内システムは、会社にとって縁の下の力持的な役割です。裏方に徹しながら、ものづくりの現場をサポートしていきたいです。

就職後の進路 2012年3月卒業

進学 22%	情報通信 17%	サービス 17%	流通 13%	メーカー 11%	建設・土木 5%	公務員 5%	その他 10%
-----------	-------------	-------------	-----------	-------------	-------------	-----------	------------

ここで学んだ四年間がこれからの自分を形づくる

学んだ知識を生かして、人と接する仕事に
在学中は電気関連の分野を専攻していました。電気はあらゆる産業・業界で欠かせませんし、その知識はどこでも求められるはずだからです。
その一方で、部活動(スキー部)やアルバイト(販売関連)では人と接する機会が多く、できれば人と向き合う仕事に就きたいと考えたようになり、就職活動が始まり、業界研究をしていくうちに、その両方をかなえられるのは、電気製品を扱う商社だということに思いあたりました。
とはいえ、私は長男なので、遠くの地域に就職することには躊躇していたのも事実。地元栃木県内に軸足を置きながら、首都圏も視野に入れた就職活動でした。しかし、会社に入るための「就社」ではなく、したい仕事で選ぶ、本来の「就職」を目的に動きました。就職サイトに頼らず、OB訪問の他、友人のお父さんにまで企業や業界のことをたずねたり、できる限り、生の情報に触れるように心がけました。その結果、電設資材や電気機器を取り扱う当社を志望し、採用となりました。

在学中に学べることや経験できることを大切に
現在は商品の入出庫や売上、納期の管理といった営業サポートを担う業務を担当。お客様に商品を確実にお届けするため、営業担当との橋渡しをする役割です。主な取引先は、工場や制御盤メーカー。2010年から施行された改正省エネ法に見られるように、環境に配慮した取り組みが欠かせない現在、モーターやインバータをはじめとした省エネ設備や工

「商材の知識が求められますし、電気関連の研修も多いのですが、専攻して基礎から学んできたことが、あらゆるシーンで役に立っていると実感しています。もちろん、情報を扱う仕事柄、大学で情報に対する認識を身につけておいてよかったと思うことも多々あります。
後輩の皆さんには、勉強部活動・アルバイト・ボランティア・趣味...何でもいので、4年間に「自分はこれをしてきた」と胸を張っていえる何かを見つけてほしいですね。貴重な時間を悔いの残らないように過ごしてください。
自身の今後の夢は、提案力と信頼されるスキルを備えた商社マンになること。あなただから取引がしたい」とお客様からいわれるように、日々勉強中です。

大谷 僚さん

藤井産業株式会社
機器制御第一営業部 電機一課

事業内容:電設資材・電気機器・産業機器・
情報機器・建設資材などの販売、
総合建築・設備・建設資材の施工

学んだことすべてに無駄がない。
それがヒューマン情報システム学科の
特長だと語る大谷さん。

主な就職先

JIT TKC ケーシン ジェイ・ティ 関電工 などり 日本コムシステムズ
ピーブレイクシステムズ マイスターエンジニアリング ヨロズ 他

ヒューマン情報システム学科では、こんな資格を取得できます☆

「人を幸せにする」という視点から情報システムを学べる「ヒューマン情報システム学科」ですが、実は将来に役立つ様々な資格のための勉強ができる学科でもあります。資格取得に向けてがんばる学生たちを紹介します!

医療の安全と機器を守るプロフェッショナル 「臨床工学技士」を目指す! 臨床工学技士コース

山口 涼さん(4年) [富山県立魚津高校 出身]



医療現場で多用されている医療機器。中でも生命維持管理装置の操作や保守点検を行うプロフェッショナルである「臨床工学技士」を目指しています。3年生までは宇都宮キャンパスで学科のみならず電気回路や電磁気学、システム制御などの電気電子系の授業を受けていましたが、4年生になってからは、東京にある帝京短期大学の「専攻科 臨床工学専攻」で学んでいます。解剖学や生理学、透析や人工心臓の実習、実際に患者さんとコミュニケーションを取ったり機械の操作を教えられる病院実習など、医療系ならではの授業に日々奮闘しながらも、充実した毎日を送っています。現代医療を支えるチーム医療の中で、大きな役割を担う臨床工学技士。誰かの命を救う仕事に携われるのは、とてもすごいことです。覚えることやレポートも多く、とても大変ですが、国家試験合格を目指してがんばります!



学校の先生になりたい!(教員免許)

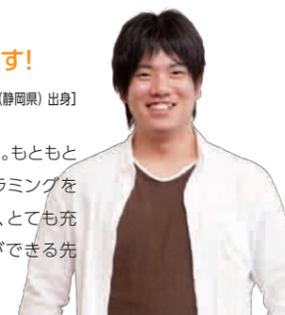


高等学校教諭1種(情報)を目指す!
龍福 舞美さん(3年) [私立作新学院高校(栃木県) 出身]

教職課程では、興味深い科目がたくさん。例えば教育心理学は、教育者だけではなく、これから子育てに携わる可能性のあるすべての人に必要な知識だと思います。教員免許取得を目指す仲間が多いことも心強いですね。

中学校教諭1種(数学)を目指す!
金子 拓矢さん(3年) [私立浜松日体高校(静岡県) 出身]

中学の頃から教師になることが夢でした。もともと興味のある、ロボットや回路、プログラミングを学びながら教員免許の取得も目指せて、とても充実した毎日です。生徒と笑い合うことができる先生になりたいです。



就職に有利な資格にどんどんチャレンジ!

情報処理技術者試験(ITパスポート)・ドットコムマスター(シングルスター)に合格!
荒川 史也さん(3年) [栃木県立鹿沼商工高校 出身]

「ITパスポート」とは、職業人が共通に備えておきたいIT(情報技術)に関する知識レベルを測る国家資格。「ドットコムマスター」とは、ITスキルアップに役立つ知識・技術を網羅したインターネット検定のこと。特定のメーカーやソフトウェアに特化しない総合的な資格なので、スキルの客観的な証明だけでなく、自己啓発や就職などにも幅広く役立ちます。宇都宮キャンパスには、資格取得をメインとした授業や相談に乗ってくれる窓口もあり、eラーニングによる自主学習と合わせて効果的に勉強できます!



その他、こんな資格の取得を目指せます!

博物館学芸員
情報処理技術者試験(基本情報技術者)
CGエンジニア検定(ベーシック)

第1級陸上特殊無線技士
第3級海上特殊無線技士
高等学校教諭1種(工業)

宇都宮キャンパスNEWS

..... ここ最近の宇都宮キャンパスでのイチ押しニュース



第23回帝京大学宇都宮キャンパス学園祭 ～帝祭(MIKADO-SAI)～



11月10日(土)・11日(日)

今年のテーマは「笑門来福一笑顔は最高の幸せの素」。各学科による趣向を凝らした企画や、芸能人企画(お笑い芸人: ロッチ・100W・あばれる君、アーティスト: RAM WIRE・KATA-KANA)などが実施され、例年以上の活気を見せました。

同日開催:「保護者向け就職説明会」

最近の厳しい就職状況を反映し、多くの保護者の方にご参加いただきました。大学側から就職活動の状況や就職活動時期の保護者としての心構え、就職支援行事などの説明があり、保護者の方も熱心に聞き入っていました。



学友会の活動



ハロウィン
10月24日(水)～31日(水)

ヨーロッパに古くから伝わる伝統行事「Halloween」を広く実感してもらいたいという想いから、1Fロビーをお祭りの雰囲気装飾しました。また、ハロウィン当日には仮装して、「トリックオアトリート」と言いながら学生に近づき「ハッピーハロウィン」と答えた学生に対してお菓子を配って文化風習を体験しました。



帝京杯 10月18日(木)～11月1日(木)

例年スポーツの秋に、健康増進と学生間の交流を目的として実施している「帝京杯」を3週連続計5日間開催しました。今年の競技はバスケットボール(参加13チーム)とドッジボール(7チーム)。それぞれ熱戦を繰り広げ、バスケットボールは「No Name」が優勝し、ドッジボールは「準硬」が昨年に引き続き2連覇を達成しました。



まだまだある、宇都宮キャンパスの最新情報



バイオサイエンス学科の朝比奈雅志先生が「植物化学調節学会奨励賞」を受賞しました



菜の花畑復活プロジェクトのその後... エゴマ畑になり8月末除草作業を行いました



もしも!のための消火訓練 (今年は、オートモビル・テクノロジー・センターにて)



一般の方に向けた公開講座が開催されました



AED講習会に、多くの学生が参加しました



アメリカ航空宇宙体験ツアー2013 参加者募集中!
隔年で実施している、NASAや航空博物館を訪ねるツアーが2月27日(水)～3月6日(水)の8日間の日程で実施されます。2年に1度の企画! 希望者は学生サポートチームまで!

えっ!?

宇都宮キャンパスに通信教育課程があるってホント!?

そもそも、「大学通信教育」って?

「大学通信教育」とは、地理的・時間的制約などにより、向学心を持ちながらもその実現が難しい人たちの期待に応えるための、正規の大学教育課程です。社会人の再学習や生涯学習のステージとして開かれた高等教育機関です。

帝京大学にある「情報科学科通信教育課程」って?

「新しい情報教育を受けた社会人」の育成を目指し、情報科学の基礎となる数学や情報技術の柱となる情報科学演習・プログラミング科目に重点を置いています。カリキュラムは、情報技術(IT)を中心にしながら、外国語(英語)・文化芸術・社会学系などの生涯学習的な科目も学べるようになっています。eラーニングにより、実践的な情報技術を習得できます。現在は大卒資格を得たい、職業上必要、PCについて学びたいといった多くの社会人が在籍しています。

コンピュータを学問的に追究。知れば知るほど興味が深まります。



理工学部 情報科学科 通信教育課程3年 上原 巖さん

上原さんの1週間のスケジュール

「学習時間は多い方だと思う」と上原さん。救急が入れば病院へ行くため、常に時間を惜しんで勉強している。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強
10:00							
12:00	仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	勤務	フリー
14:00							
16:00							
18:00						フリー	
20:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		レポート
22:00							
24:00							

平日は「診察放射線技師」

上原さんは、平日は診察放射線技師として働いている。「子どもの頃からコンピュータが好きで、学生時代は秋葉原のパソコンショップでアルバイトをするなど、コンピュータ漬けの日々を送っていたほどです」。仕事にも少し時間的な余裕ができた今、改めてコンピュータに対する探求心が高まって学問的に究めてみたくなり、通信制大学で学ぶことにしたという。

理工学系を学べる通信制大学は実はあまりない

上原さんが興味を持っているのは、ソフトを使いこなすことではなく、コンピュータそのもののしくみに関してだ。どのような構造でできているのか、ハードとソフト、演算のしくみなど、コンピュータのメカニズムそのものの解明にある。しかし、学習対象として学んでみたくなったものの、通信制大学で理工学系を学べる大学は限られていた。そんな中、帝京大学の通信教育課程を見つけ、上原さんは迷わず入学した。

コンピュータの原理・構造を学習中

上原さんが今、熱を上げて学んでいる科目は「離散数学」だ。コンピュータは情報を0と1の組み合わせに置き換えて演算するしく

みになっており、コンピュータのこうした根幹部分を学んでいる。

「「離散数学」は、数学の並び方がとびとびなものを扱う数学で、暗号技術にも応用されています。暗号技術では、公開鍵暗号の一つ、RSA暗号のしくみの基礎を整数論に基づいて学習しています」。

学んだ内容を仕事に活かしつつ、卒業後は大学院進学を目指す

もともと理数系が得意だったこともあり、コンピュータが動く理論を正確に理解することはとても知的刺激を受けると話す。「CPUがどのような原理・原則に基づき演算処理を行うのか、また、それらを動かす基本ソフトはどのような状態でハードウェアに常駐しているのかなど、コンピュータのしくみを理解するのは技術の発想力を学ぶことにもつながり、知的好奇心がくすぐられますね」。

一方、コンピュータに関連以外の科目にも興味を持っている。「法学などの教養系科目も履修していますが、知識の幅と厚みを持たせることができ、とても満足しています」。学んだことは電子カルテネットワーク構築などに活かそうと考えているが、学問としてコンピュータを究めることにこだわりを持ち、卒業後は大学院進学も視野に入れている。





ここで紹介したことは、対談のごく一部。実際は、書けない話も盛りだくさんでした(笑)。気になる人は、オープンキャンパスなんかで直接聞いてください☆

■ 木口 智恵さん (地域経済学科2年) [栃木県立宇都宮商業高校 出身]
 ■ 鈴木 貴子さん (バイオサイエンス学科3年) [茨城県立並木高校 出身]
 ■ 富田 奈津美さん (機械・精密システム工学科4年) [栃木県立茂木高校 出身]
 ■ 山中 祐里さん (バイオサイエンス学科3年) [茨城県立古河第三高校 出身]
 ■ 青木 未来さん (柔道整復学科4年) [埼玉県立羽生第一高校 出身]

ここに来て、よかったこと!

木口 何と言っても、いい友達と出会えたこと! 特に女友達。女子は少ないけど、その分、女子同士の絆が強くなる気がします。

鈴木 教師という目標を目指す上で、うまくいかないこともあったけれど、得たものも多かった。それは勉強のことばかりじゃなく、苦労を共にした仲間や、励ましてくれる教授や親のありがたみ。それを知れただけでも十分、成長できたと思う。

山中 私の場合、正直言うと明確な目的があってここに入ったわけじゃないけれども、数えきれないくらいの出会いはあった。このキャンパスで出会った人はみんな個性的で、すいぶん刺激をもらえたな。

青木 私もうろんな人と出会いながら成長できた。失敗や後悔もあるけれど、それも含めて将来きつと役に立つ経験だと思ってる。

富田 卒業を目前にした今、振り返ってみると、本当に人に恵まれていたと思うな。特に私の場合、学科ですと女子一人だったから、周りの人が何かと気にかけてくれた。教授や職員の方のアドバイスや大学の就職支援制度のおかげで、希望していた技術系企業への就職も決まった。たくさんの人の支えがあったからこそ、私はやりたいことを買けたんだと思う。もうすぐ卒業で寂しいけれど、ここで4年間を過ごせて本当によかった!



宇都宮キャンパスならではの授業☆

山中 バイオサイエンス学科は、インパクトのある授業が多いよね。

鈴木 そうそう。カエルの解剖は衝撃的だった。でも慣れてくると、女子として取るべきリアクションを忘れるくらいに没頭しちゃう(笑)。

山中 いちいち「キャー!」なんて言ってもらえないよね(笑)。

青木 ここでは女子がたくましくなるね。柔道整復学科は人体に関するおもしろい授業があるけど、地域経済学科にはどんな授業があるの?

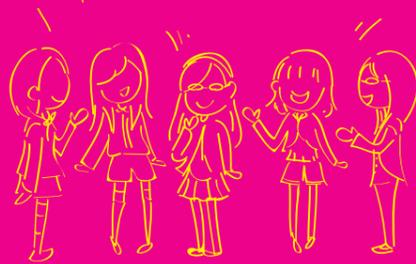
木口 この前、秩父で農作業を体験してきました。埼玉県主催の「ふるさと支援隊活動」の一環で、学生の手を借りて菜の花畑を復活させようというプロジェクトです。宇都宮ものどかな地域ですが、秩父はもっと。決して便利な暮らしとは言えないけど、地元の方々のご高齢でもとても元気で、逆に元気をもらっちゃいました。でも運悪く女子は私一人…。ちょっと寂しかったな。

富田 私は他の大学にはなかなか置いてない「CATIA」という3D設計ソフトを使いたくてここを選んだの。「CATIA」を使ってある程度の図面は一人で起こせるようになった。女子が少ないという理由だけで他の進学先を選ばなくて良かったって、今、すごく思うよ。

鈴木 私は理科の先生になりたくてバイオサイエンス学科に入ったんだ。でも、実際に模擬授業をしてみると思うようにできなくて、理想と現実は違くなって痛感する。それでも、この先、たとえ教師という道を選ばなかったとしても、教員免許は必ず取りたい。やっぱり学生時代に何かをやり遂げたっていう経験は、人生の中で必要なことだと思うから。

山中 二人とも偉いなあ。サークルで先輩に就活の話や聞くと、不安になっちゃう。

青木 勉強に限らず、サークルでもアルバイトでも、何かに夢中になっているなら、きっとそれは将来の財産になると思うよ。



理工学部があるせいか、男子が多いイメージのある宇都宮キャンパス。

実際、男子の割合が高めであることは確かですが、そんな中、自分がやりたいこととまっすぐ向き合う女子たちの姿があります。

今回、そんな女子学生5人が集まり、ガールズトークで大盛り上がり。彼女たちの等身大の姿が垣間見える、トークの一部始終をどうぞ!



男子に囲まれたキャンパスライフ☆

木口 入学して驚いたのはやっぱり男子の多さかな。女子の姿が全然見当たらないから、最初は休んでいるのかと思ってました(笑)。

山中 男子が多いから、学外の友達には「モテるでしょ?」なんてよく聞かれるけど、運命の人と巡り会えるのは確率の問題じゃない気もするな〜。

鈴木 そうだね。でも、男友達は確かに増えるかも。

富田 機械・精密システム工学科なんて同学年の女子は私一人だけだから、男子の輪の中に入っていけないわけにいかなかったな。でも、この男子って気難しいところはあるけれど、根はいい人たちばかりだから、私のことも自然に受け入れてくれて、気がつけば一緒になって実験や研究に打ち込んでたって感じかな。

山中 確かに優しいよね。話しかけると気さくにしゃべってくれるし。シャイな人が多いんだよ。ただ、柔道整復学科は体育会系の人が多いし、

他の学科とは少し雰囲気が違うよね。

青木 うん。見た目でもわかるよね。基本的にオープンな人が多いからすぐに仲良くなれた。でも、仲間たちと青春を謳歌したいのならサークルに入らなきゃ。私のサークルは、夜中にいきなり集まって、みんなで日光まで朝日を見に行ったりもしたよ。学部・学科を超えた友達ができるし、後輩を育てるのも楽しい。卒業生ともつながっているから、自分の将来を想像しやすいね。

富田 私もサークルの仲間がいたから今までやってこられたと思う。随分救われたよ。

木口 いいなー。私はアルバイトばかりです…。

鈴木 私、もう3年生になっちゃったけど、まだ間に合う?

山中 うちのサークルはいつでも歓迎するよ!